

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 321

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 1. 保健衛 現年		
事業名	母子栄養強化事業				
細事業名	母子栄養強化事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	疋田 ミツル

## 1. 事業の概要

妊婦及び乳児に牛乳を支給した。ただし、保健上の理由により、乳製品の支給が適当である場合には粉乳とする。  
乳児については、特に栄養強化を必要とするものに限る。（所得制限あり）

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する。

### ②事業を実施する必要性

妊婦の健康を保持することで、低体重児の出生数を減らすため。低所得家庭の低体重等乳児の健康状態改善をするため。

## 3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	3,227	1,692	47	102	174	204	204
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	1,379	0	16	38	38	38	38
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,848	1,692	31	64	136	166	166
職員等の従事人員		人/年	—	0.13	0.03	0.12			
人件費		千円	—	724	232	708			
事業費総額		千円	—	2,416	280	811			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

母子栄養強化事業(牛乳代等) 102,267円 (扶助費)

## 5. 事業結果の概要

新規申請 妊産婦 7人

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

平成20年度から所得制限を加えたため、対象者は数名である。経済状況が悪化する中、対象者にとっては必要な事業と考える。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

平成20年8月から所得制限を加えたため、対象者は、数名程度となっている。今後は、事業のあり方を含めて検討する。

##### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
牛乳飲料と妊婦の栄養過多・アレルギー児の増加・低体重児との相関関係について、協議したが、科学的な根拠は得られていない。
- ②当該事業のアピール事項  
経済的困窮者で栄養状態の悪い妊婦や乳児の栄養状態改善を図る。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
所得制限実施後、申請者数は減少しているが妥当な方向と考える。